

令和5年度 第2回西淀川区教育行政連絡会議事要旨

日 時：令和5年9月12日（火）15:30～16:30

場 所：オンライン（Teams）

出席者：（学校）野里小学校、姫里小学校、姫島小学校、福小学校、大和田小学校、川北小学校
佃小学校、香簍小学校、歌島小学校、出来島小学校、佃西小学校、御幣島小学校
淀中学校、佃中学校 各校校長先生

（区役所）区長 中島、副区長 難波

こども福祉担当課長 横内、担当課長代理 椿野、担当係長 向井、係員 播谷、加藤

○事務局から開会の挨拶

○区長挨拶

○令和6年度西淀川区教育担当が実施する事業の大きな方向性について

事務局から令和6年度西淀川区の教育担当で実施する事業の大きい方向性について資料にそって説明

・に～よん漢字道場 evolution!：学習意欲、自己肯定感、基礎学力の向上を目指し小学校において英検 Jr・英検 ESG、中学校において漢字検定又は文章検定を実施。

全国学習・学力状況調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対する肯定的な回答率が高まっている。子ども達の自己肯定感が伸びたと考えるが、この事業の成果だけでは無いとは考えており、それぞれの学校で取り組んで頂いている活動・その他の事も含めこのような数字が出ていると思う。ただし、一定の成果は上がっているとは考えており、来年度もこの事業について継続をしていきたい。

子ども達が頑張ったことについて表彰する制度を区役所で設けている。昨年度も幾つかの学校にご利用頂き表彰状をお送りした。子ども達にお渡し頂き、がんばったという実感を持てるようにしていただいている。今年度・来年度も継続をしていきたい。

・に～よん模試：区内の中学2年生を対象に、約1年後に迎える高校受験を見据え課題を見つけ、進路への意識付けをすることを目的とし、区内、唯一の私立学校好文学園女子高等学校において、五木書房にご協力頂き、模試を受験する機会を提供するというもの。区PTA協議会、区内4中学校校長先生方に区役所に集まって頂き、今年度は何時・どのような形で行うかを話し合い、大枠が決まった。成果指標は、子ども達へのアンケートの結果を用い、令和4年度アンケートの結果では、「この模試を受験して、いよいよ4月から中学校3年生だ。勉強頑張ろうという気持ちになりました」に肯定的な回答を行う生徒の割合は4中学校合わせて71.5%。「来年も後輩たちがに～よん模試を受験できたら後輩たちにとって良い機会となると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした子ども達の割合は、86.7%という高い数字を答えている。昨年度の反省点は、問題が難しかったので、平均点が思ったよりも下になってしまったところ。五木書房と学校とでよく話頂き、子ども達の学力にあった良い問題で、より子ども達のやる気が高まるような形で模試が実施できれば良いと思っている。

・スクールボランティア支援事業：効果を確認し継続していきたい。区内の全校では無いが、多くの学校にご利用を頂いている。学校を人的に支援することを目的に、学校などでボランティア

活動を行う方に1日2,700円の報償金と、交通費を支給する。令和4年度、スクールボランティア支援事業が有効と感じる学校の割合が100%であった。サポーター等が充実してきた中ではあるが、要望に応えられるように、この事業を継続していきたい。

・に～よん個別復習塾：効果を確認し継続。今年度から令和5・6・7年度の3ケ年の協定を締結した。また、塾代助成の対象が小学校5、6年生に拡大したため、に～よん個別復習塾も小学校5、6年生および中学生に対象を拡大し、オンラインでも実施している。小学生が特にホールについては増えている。エルモも昨年に比べて2名程増となっている。中学生が減ってきたため、校長先生からこのような塾を区役所が行っている事を先生方への共有をお願いしたい。

・教育環境の充実事業：効果を確認し継続。次長枠では無く、区の予算で実施をしている事業。
にしよど☆グッドスタート事業：保育園・幼稚園の先生から「この調査票を提出頂くと小学校から支援が受けられるようになります」と保護者の方にご説明いただいている。保護者の方から調査票を提出頂き、その情報を進学先の小学校と共有する。今年度は、計15名のこども達が挙がっており、うち3名のこどもがまだ入学申請書出してないという状況。10月から就学時健診が始まると思うが、就学時健診のリストに上がってこない状況になってしまうので、区役所から保護者の方に提出を促していく。調査票を送らせていただいた学校の先生方にはぜひ活用を頂きたい。

たぶんか高校進学セミナー：昨年度に引き続き、今年も実施。参加者の総数につきましては、昨年より少し減っているが、今年はこども達だけでの参加が多かった。昨年度は家族全員で来た人が多くいたので、こどもの数は昨年度と同じぐらいの数となっている。

・西淀川区不登校児童生徒学習支援事業～おうちで勉強、おためしプラン～：本年7月25日より、新しい事業として開始。不登校児童・生徒学習支援事業ということで、こどもサポートネットで支援する児童・生徒を対象とし、オンライン学習教材「デキタス」を無償で提供する。この学習教材は小学校1年生から中学校3年生までの教材が用意され、こども自身が好きな学年、好きな教科を選んで学習することが出来る。学校のタブレットでも使用が可能。アプリであると学校運営管理センターの許可が必要となるが、こちらはブラウザ上で実施する。この事業を開始した当初、校長先生・教頭先生に学校のタブレットを使わせて頂きたい旨、区の事業と言う事でご承知頂いているところかと思う。実際に、中学3年生が、小学校1年生の問題を1時間～2時間勉強をしてくれたりする。一方で登録してもやってくれないこどももいる。全体的に勉強時間も結構伸びて来ていると思う。

○意見交換

(淀中学校校長)

に～よん個別復習塾の、3ヶ年の協定頂いたのは良い事と思う。参加しているこども達も毎年、業者の方が変わると、方法が変わってしまうので、やはり3年間っていうのは大事と考えています。

「デキタス」についてですが、その学校の当該児童・生徒のデータを学校が見ることはできるか。

(区役所)

保護者の方には、区役所がモニタリングすることに同意書により同意いただいている。こサポ推進員と学校教育支援担当で、学習内容についてはモニタリングし、共有している。学校で必要ならば、IDの管理者権限をお渡し、確認頂く事や、こサポ推進員からスクⅡで学習状況を共有させて頂くか等の方法が考えられるが個別で相談させて頂きたい。

(姫里小学校校長)

いろいろな取り組みが有り大変良いと思う。皆様のご意見を伺い是非、参考にしたいなと思っている。

○「学校や学校協議会委員の主な意見」について事務局から資料に沿って説明

教員の採用・働き方については、教科担任制に注目している。超過勤務の削減に苦慮している学校での取り組みなどが学校協議会の議題に上がっている。また、働き方改革の変革を、もう少し解りやすく保護者に伝えて欲しいという意見もある。

他にも、中学校区での小中連携や ICT の推進については心の天気の利用等が議題にあがっています。

これからいろんな行事が再開して行く中で、しっかり学校のスタンスを定めて頂きたい。働き方改革を進めていくなかで、こども達を中心に見たときに、何を残して、何を变えるかをしっかりと意見交換する必要があると思います。PTA と学校・PTA と地域の様な関係が、こども達に対して良い方向になるように進めて頂きたい。

今後、教育行政連絡会で出た話、各学校の訪問の時に確認させて頂いた事など、学校から学校協議会で改めて議題提起していただき、しっかりと話し合える環境を作っていくのが非常に大事と思っている。

○意見交換

(区役所)

英検ジュニアについて、大和田小学校で多くの学年で実施頂いている。その成果等を他の学校にお伝えいただける事があれば教えて頂きたい。

(大和田小学校校長)

英検ジュニアを受けたから英語の力がつくという感じではない。英語に興味ある子と、そうでない子がいますが、英検ジュニアを実施することで興味の無い子も経験することができる。何もしなかったら興味ある子しか取り組まないと思うが、興味なかった子の中にも、ひょっとしてこの機会に新たに興味を持つ子が増えるかもしれず、1つの広がりになると思っている。

(淀中学校校長)

資料内、新型コロナウイルスの部分の最後に、生徒の安全を盾に中止されている感じがすると記載があり、こちらについて疑問が生じる部分。安全は全てに優先される課題だと思う。コロナが5類移行となり、それぞれの学校でこれまでの制約がなくなり、いろいろな行

事ができる状況は非常に良いことだと思う。学校が通常の学習だけではなくて、こういう行事を通して、子ども達がいろいろな力を発揮する。自分の出来ることを発見するというのは、非常にプラスになることが多いと思う。コロナ禍前のように、以前はやっていたのだからと急に復活して実施はなかなか難しいところがある。この辺はご理解頂きたい。

(区役所)

地域の各団体の方は、コロナが終わった後、今後どんな風に学校と一緒にやって行けば良いのかと考えていると聞いている。子ども達を支える為に、PTA（保護者）として、子ども達に何かしたいとの意見がある。積極的なコミュニケーションを取り、しっかり意見交換をして頂ければと思っている。

(佃小学校校長)

タブレットの利用については、今年度から積極的に使うようになってきている。しかし、なかなか家庭に持って帰って活用するということが難しい状況。子供に持って帰らせるには重すぎて、教科書もタブレットもとなると、ちょっと子供の負担が大きいので、学校の中だけで使っている状況。保護者に見ればタブレットを持ち帰らないので、どんな風に使っているのかというような、不満があるのかもしれない。教科書を置いてタブレットだけを持って帰る日を作るとか、何らかの対応を行いたいと思っている。

(野里小学校校長)

資料内で、教員の採用・働き方の項目にて、教科担任制を注目しているという委員の方からのご意見及び、学力・学習環境の項目で、読解力の低さから多くの科目で点数を落としているという学校のご意見であったが、本校では、教育センターからの支援員さんが来られてご指導いただいている。来年度から言語能力の育成が始まり、まだ時間割がどこに組み込まれるか未定であり、カリキュラムがなかなか組むことが出来ない状況。英語も ICT も行う必要が有るが読解力の育成も行わないといけない中で、教科書も変わる等が来年度重なるので、かなり教員が疲弊している。

教科担任制に注目されるということであるが、地域の中から、例えば理科の準備を、お手伝いする方や、体育と一緒に活動して頂ける方がいらっしゃったら、だいぶ助かると感じる。とにかく今ビルドばかりのため、スクラップの部分はどうやって作るのか悩んでいるところ。

(区役所)

区役所で広報紙「きらり☆にしよど」にサポーター・ボランティアになり得る人の募集を行っている。各校に照会させて頂いた時には必要無かったけれど今は必要と言う学校については、「きらり☆にしよど」は、1年に1度しかページが取れないが、ホームページの募集ページを更新するので連絡いただきたい。子どもが大きくなり、学校で人の役に立つようなことをしたいと、窓口で相談されるような方もいらっしゃるので。

(香簗小学校校長)

タブレットについて、4年生以上はできるだけ毎日持って帰らせるようにしている。充電器を家に持って帰らせ、家で充電をマックスにして学校に持ってくるというようなことをしている。朝会のないときはナビで算数の問題を解く、「心の天気」を入れるが朝のルーティーン。ナビは国語・算数だけであり、9月から新しい学習アプリを取り入れて理科の問題を3ヶ月間無料トライアルで取りかかろうと考えている。1番最初のテストを昨日・今日と取り組みを始めているところ。それが12月の経年でどれぐらい差が出るか、理科に興味湧くかとか、そういったところも今から取り込もうと思う。

加えて、資料内、働き方改革のところにある教科担任制については、教科担任制による学力向上を目的に5年生と6年生で4月から始めている。5年生6年生の担任の感想としては、今まではすべての時間、自分でいろいろ考え、行事の前には行事を中心に社会が遅れているので他の教科で調整しその残りの時間を社会に充てるとかを行っていたが、活用できる時間が減っているのも、逆に忙しい、使える時間が減ったように感じると感想を持っている。教科担任制が働き方改革になるかは少し疑問なところである。

なお、働き方改革について地域の方にもお願いしているが、今のところ、10月の4週から11月の4週の土日、毎週何かの行事、土曜授業で出勤する必要があるというのが、現状である。

(姫里小学校校長)

各校長のパソコンが非常に最近使い難い状態。本会議も職員室のパソコンで参加している。何度か校長室のパソコンを試したが調子が悪く、このような状況ではTeamsの会議もやりにくさを感じる。直接お会いするほうが、色々思いなどを話しやすいかなと思う。例えば小学校校長会などの時に、教育行政連絡会と一緒に開催頂くとする様な事を考えて頂きたい。

(区役所)

開催方法や開催日については良い方法を検討していく。
校長会等でも適宜意見交換が出来るように、区役所も携わらせて頂きたいと思っている。また学校教育支援担当は積極的に学校訪問し、そこで忌憚のない意見交換をし、今年度・来年度に備えたいと考える。